

もくじ

- 新年を迎えて…… 1
- コラム・ふれあい… 1
- ふれあいまつり …… 2~4
- 事業活動報告 …… 4~6
- 宮田小150周年… 5
- 宮田の昔③ …… 6

宮田まなざし

宮田学区
コミュニティ推進会
第120号
令和6年1月1日発行
〈発行責任者〉
岩間 廣道
〈編集〉
広報部

3年間の長きにわたるコロナ禍がもたらしたコミュニケーション活動の休止期は、活動の自粛・中止というマイナス面ばかりではなく、世代交代促進というプラス面をも演出いたしました。

しかし、結果は経験不足が露わになった場面がクローズアップされたのも事実でした。それでも、そのようなかで救いの手を差し伸べてくれた前任者や経験者の方々によるアドバイスは、新任担当者にとって大きな

救いとなりました。それは、当会の課題の一つ「若返りが少しずつ進みはじめている」という証です。若い担当者は、就任後に初めて手がけることとなった「元気っ子体験村」や「ふれあいまつり」の役員として大役を見事に果たしてくれました。もちろん、実行委員の方々のご協力や経験者の適切な助言あつての賜物だったことは言うま



宮田学区コミュニティ推進会
会長 岩間 廣道

新年、明けましておめでとうございます。



題字・高田 瑞穂



でもありません。今年度、日立市は大きな災害に見舞われました。市役所が被災したことは、記憶にも鮮明に残っています。当会では、住居の被害報告は受けていません。宮田川の川岸が水で浸食された程度だったことに安堵しました。被災者の方へは、心よりお見舞い申し上げます。改めて、日本は災害との遭遇率は高いのだと、認識した一年でした。災害は防ぐことは難しいが、減災は可能です。ぜひ、防災訓練にご参加いただき、避難への意識を高めてください。最後に、皆様の笑顔に満ちた一年となりますよう祈念し、挨拶とします。

やっとコロナ禍が終息の兆しを見せて、様々なイベントが規制なしで開催される中、宮田小学校では10月28日(土)に運動会と「創立150周年」の記念イベントが開催された。運動会は、家族とのお弁当期間も解禁になり、見学の家族数も制限されていた祖父母にとっても、うれしい一日となったことだろう。なお、イベントは雨のため様々な変更があり、駄菓子類と餅まきは体育館で学年ごとに行われ、どの学年も無邪気に精いっぱい歓声と、床を転がりながら拾う姿にはおかしくもあり感動もした。また、紅白のお餅は退場時に保護者から手渡され、全員に公平に配られたのは大変よかった。児童の後には、体育館いっぱい集まった保護者と幼児向けに駄菓子類とお餅を混ぜた餅まきが行われ、同様にすごい熱気である。児童たちには、今回の餅まきに接した一生懸命さと喜びを忘れないでほしいものだ。



〈Y・F〉

4年ぶりの開催です!! みやたふれあいまつり

● 11月5日(日曜日)
● 宮田小学校 校庭

ふれあいまつり実行委員会
実行委員長 大和田豊克

晴天に恵まれた11月5日(日)、宮田小学校において延べ800人の出場者が集い、「地域で支え合う全員参加のふれあいまつり」をテーマに開催いたしました。今年の開催は、地域住民



に大きな影響をもたらしたコロナ感染症がインフルエンザ同等の扱いになったことで、宮田学区コミュニティ推進会の最大イベントである「みやたふれあいまつり」を4年ぶりに開催することができました。

開会式に続き、最初の演目の「みんなで踊ろうドンパン節」は、楽しく踊ることができました。しかし、次に予定していた駒王中学校吹奏楽部による発表は、当日風邪の症状が出ている生徒が多かったため、中止となりました。吹奏楽の演奏を聴きに来たお客様は、とても残念な様子でした。

明秀学園日立高の「チアダンス」は5年ぶりの発表でしたが、生徒の皆さんが躍動感あふれるダンスを披露してくれました。

「ハワイアン・フラ」では3曲のダンスが披露され、観客から大きな拍手が湧き起こりました。また「阿波踊り」では、ボランティアの駒王中学校の生徒さんが

提灯を掲げながらの踊りが披露されました。次の「阿波踊り」では、観客の皆様に参加していただき、賑やかに踊ることができました。ゲームも「紅白玉入れ」、「グラウンドゴルフ」、「〇×クイズ」、「支部対抗リレー」が行われ、参加者たち全員が楽しんでいました。

また、各支部、交流センター、青少年育成部による模擬店をはじめ、健康コーナー、バザーなどが多くの人で賑わいました。食べ物を提供した模擬店は、すぐに完売したようです。

さらに、今回初めてキッチンカー4台、テント販売2店に出店していただき、大変好評でした。締めは「大抽選会」です。特賞から6等までたくさん

の賞品を用意しました。当たらなかった方は、来年に期待しましょう。写真を多数掲載しましたので、振り返っていただければ幸いです。

最後に、準備から開催、そして後片づけまでご協力いただきました実行委員の皆様には、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



明秀学園日立高のチアダンス



みんなで元気にドンパン体操



優勝めざすぞ! 紅白玉入れ



子どもたちと神峰天風連と一緒に



優雅に踊るリコ・レファフラの会



落とさぬように！支部対抗ボールリレー



あっ、間違えた?! ○×クイズ



日頃の練習の成果は出た？



おめでとう！大抽選会特賞



どうか何か当たって！大抽選会



ミニゲームも盛況でした



各支部のテントあれこれ お菓子や団子、野菜などの販売もあり、皆様お疲れさまでした



バザー、お目当てのものは手に入った?



ケガした人はいないかな?!



コースターや折り紙の工作も人気



まつり本部テント



駒中生もお手伝い、ありがとう



いっぱい売れたかな?!



キッチンカーが初登場! どれも食べたくなって、来年も楽しみだね

18名の参加者は、大田原市の湯津上へと向かった。ここは、1692年に徳川光圀が家臣の佐々介三郎に命じ、日本で最初の発掘調査をした場所、美しい前方後方墳と古い碑文を保護した「侍塚古墳」である。なす風土記の丘湯津上資料館の元館長である上野氏に案内していただき、感謝いたします。

雨模様の中、トイレ休憩で立ち寄った道の駅で見上げた空に鮮やかな二重の虹がかかり、それをくぐって常陸の国へ帰ってきたのです。

部長 岩間 廣道

生涯学習部



黄門さまが守った古墳と碑文

令和5年10月15日(日) 秋の歴史探訪



部長 大和田 豊克

文化体育部



再発見ウォーク

今回は「ゼロカーボンシティを目指す日立を一望しよう」をテーマで、郷土博物館と清掃センターを28名で見学しました。また、日立市役所の新人と中堅職員の方3名も参加し、受付等を手伝っていただきました。

9月の記録的大雨で清掃センター前の土砂崩れが心配でしたが、道路が開通し、無事見学することができました。

最後に、神峰レジャーランドの大観覧車に乗りました。天気も回復し、日立の街を一望でき、満喫の一日となりました。

宮田小学校創立150周年 心に残る記念イベント開催

日立市立宮田小学校

校長 大畠 靖子

朝からの曇り空で天気心配された10月28日(土)、「いまから、うんどうかいをはじめます！」

一年生の元気で可愛らしい挨拶が始まった「150周年記念運動会・お祝いの会」が、皆様のおかげで盛大に開催できましたことに心より感謝いたします。

今回のイベントに向けて作成された宮田小オリジナルキャラクター「いちよんツバメ」は、校舎に巣を作り、子どもたちにも愛されているツバメと、宮田小を



ずっと見守ってきた大銀杏がモチーフとなっており、5年生の発案によって誕生しました。

午前中に行われた運動会は、昨年に引き続き全校での実施となりました。全校実施となったことで係活動も充実し、記憶と記録をたぐり寄せながらの準備でした。演技の合間をぬって、用具の準備や片づけ、機転

を利かせながらの放送、上級生が下級生の手を引いて誘導するなど、複雑に同時進行する段取りを、子どもたちは立派にやり遂げることができました。

また、表現活動と呼ばれるダンスが復活し、特にソーラン150周年バージョンは圧巻でした。衣装を身にまとった子どもたちの真剣なまなざしとキレのある舞い、気合いの入った全力のかけ声が素晴らしく、保護者や福祉施設の方々から渾身の拍手を受け、子どもたちは達成感と充実感に満ちた清々しい表情でした。午後には実施された150



周年お祝いの会は「子どもたちの記憶と心に残る会にしよう」と準備が進められました。突然の大雨で予定変更となりましたが、臨機応変の対応で餅まきを体育館で行いました。昔はよく見られた伝統行事を「子どもたちに、ぜひ経験させてあげたい」と企画されたものです。

やまがた屋様をはじめとする多くの方々のご厚意で紅白餅や景品をたくさん用意していただき、子どもたちだけではなく、保護者や地域の方々も「福を分かち合う」ことができた素晴らしい会となりました。

日立地区 グラウンドゴルフ大会 2連覇達成

宮田学区GGC

代表 田尻 久

去年9月9日(土)に「日立地区グラウンドゴルフ大会」が平沢中学校において開催されました。前日の大雨で実施が心配されましたが、日立地区の5チームが参加して行われました。

相手チームも強豪ぞろいの各学区代表でしたが、グループの結束力で優勝できました。私たちは昨年度も優勝しており、2年連続の快挙を成し遂げました。

これも、練習の成果と仲間との絆の強さが大きな力となったのだと思います。



ニユースポーツの 集いで汗を流す



10月21日(土)、内容を変更して開催した「ニユースポーツの集い」には、10才から85才の方々に参加され、コミュニティ活動体験研修の方々、土曜学校の児童、卓球バレーの指導者など、総勢18人で汗をかきました。競技は、ユニカール、卓球バレーの2種目です。ユニカールでは、なかなか思う所にストーンが行かずに苦戦しました。卓球バレーはほとんどの人が初心者で、先生の指導の下、みんな夢中で楽しんでいました。

青少年育成部

部長 大和田 剛志

「花壇作り支援団体」と認定

—花いっぱい運動定着化促進事業—

宮田小学校の花壇作りを担ってから、今年度で10年になります。初めの頃は、自分にしかできない花壇作りを夢見て、花文字で「ミヤタ」を描こうと計画、夏の花壇作りが待ち遠しく感じていたほどです。

その3、4年後、日立市主催で「花いっぱいコンクール」が始まり、応募したところ「茨城県庭園樹協会県北日立支部長賞」を2年連続で受賞。それでも「最優秀賞」を取りたくて、花壇を2段にしたりしました。今年度は、夏花のミニひま



わりやサルビアを植え、過去最高の出来栄でした。6月に植栽し、8月の審査当日にはすでに花は散っていました。審査員から「花が咲いた時は、さぞきれいだったでしょうね」のひと言が耳に残っています。

今年度は「令和5年度花いっぱい運動定着化促進事業」への募集勧誘があつて応募したところ、支援団体として認定されることになりました。夏の花壇にはマリーゴールドやサルビアを植栽しましたが、この夏の日照りで部員の努力も空しく、3割ほど枯れてしまいました。また、秋の花壇にはパンジーやビオラを植栽予定でしたが、猛暑の影響で株数が揃わず、数を合わせるのがやっとでした。

この受賞は、長年にわたって継続してきた結果であり、今後も部員一同、基本である「花いっぱい運動」につないでまいります。

生活環境部

部長 大和田 一雄

写真で見る 宮田の昔③

宮田小学校校舎の移り変わり

移り変わり

昭和14年12月、日立第一尋常高等小学校（宮田小学校）は現在の場所に落成します。昭和20年7月19日、アメリカ軍の焼夷弾攻撃により戦災にあい、学校の中でいち早く復興したのが宮田国民学校でした。21年に正面校舎、24年に北校舎2階14教室が竣工しました。

昭和45年、東校舎鉄筋3階15教室が竣工します。47年には48学級2000名の児童が宮田小学校に通っていました。創立100周年を迎えたこの年、正門前に花壇を作り、記念碑を建てます。48年3月に北校舎を解体し、4月1日には22学級773名の児童が開校した滑川小学校に移りました。

現在の中央校舎鉄筋3階17教室は、昭和52年9月28日に竣工しました。翌年、西校舎鉄筋3階13教室が竣工します。そして54年2月19日、永久校舎の完成記念事業では植樹と体育館ステージ幕一式が作成されました。



昭和33年 増築中の校舎

室が竣工します。昭和

30年6月27日には、創立記念日に正面校舎2階3教室と昇降口が完工します（根本甲子男「宮田小学校百年の歩み」）。その後、正面校舎は増築され、33年までに第3期工事を経て14教室が完工しました。

昭和45年、東校舎鉄筋3階15教室が竣工します。47年には48学級2000名の児童が宮田小学校に通っていました。創立100周年を迎えたこの年、正門前に花壇を作り、記念碑を建てます。48年3月に北校舎を解体し、4月1日には22学級773名の児童が開校した滑川小学校に移りました。

現在の中央校舎鉄筋3階17教室は、昭和52年9月28日に竣工しました。翌年、西校舎鉄筋3階13教室が竣工します。そして54年2月19日、永久校舎の完成記念事業では植樹と体育館ステージ幕一式が作成されました。

日立市郷土博物館 研究員 萩原 明子

日立市郷土博物館 研究員 萩原 明子

編集後記

▼「宮田まなざし」第120号をお届けします。
▼新たな「甲辰」の年を迎え、インフルエンザやコロナが収束するよう祈願したいものです。
▼昨年は、コロナが「5類」となり、計画した行事が実施され、久しぶりに多くの人たちの笑顔が戻ってきました。特に、宮田小学校が創立150周年を迎え、子どもたちの元気な活動の様子を報告できました。
▼これらの活力は、当推進会の原動力になっていますが、それを支援する各町内の大人たちの活力がなくなりつつあることが気になります。

〈土龍〉

絵本でえいごラボ・パーティ
生徒募集中！ 随時体験会受付中！
(幼児・小学生)



英語との出会いを
素敵な絵本で楽しみましょう

指導：佐藤 世津子

☎080-5086-4521

QRコードから
茨城県・日立市・宮田町で検索

